

発行 伊藤ひであき事務所 豊橋市東田町西前山144-14 TEL 0532(53)3483 FAX (53)3809  
EMAIL : hide@apli.co.jp インターネットホームページ <http://www.itouhideaki.com/>

## 黙々と現場主義に徹して20年！

「ひであきレポート」とともに

私の議員活動は「ひであきレポート」とともにありました。初当選直後の昭和62年5月に「ひであきレポート」第1号を作り、いまや第71号。

そして、地域の中へ、市民の中へ、配り続けて、20年。炎天下の日も、寒風の中も、「ひであきレポート」をかかえて、黙々と歩いてきました。

どこまでも生活現場主義に徹して、「市民の目線」で、地方政治に真正面から取り組むために。

### 行政経営の時代

一方、今や地方政治のキーワードは「行政改革」。しかし「減量・人減らし・節約」だけが強調されますが、大切なのは、「積極的な行政経営」だと考えます。

地方政治の現場にはムダ使いを徹底的に省き、市民にとって大事なものにはきちんと対応していくメリハリのある行政評価が不可欠です。

民間企業で徹底した品質管理手法を身につけた伊藤ひであきは豊橋が全国に誇る「豊橋版行政評価システム」の構築に全力で取り組んできました。

### 泥臭さを政治に

改めて、政治の場に土のにおい、庶民のにおい、現場のにおいのする政治家が少なくなったと言われる中で、どの人が真に現場の声を代弁し、住民のために仕事をしてくれるのか・・・このことが問われています。

人々の喜びや悲しみ、苦しみが分からずして地の通った政治ができるはずがありません。

「知恵は現場にある」。伊藤ひであきが「三八朝市」に立って、「ひでレポ」を配りながら対話し続けるのはそのためです。

今、再び豊橋への熱き思いをたぎらせて、改革の先頭に立って頑張ります！

### 広域連携で、合併の機運を

渥美半島での新田原市の発足、豊川市を中心とした宝飯三町の動き、また、4月に人口80万人の浜松市

が政令指定都市となるなど、周辺自治体の合併への動きは活発。そうした中で東三河一体の合併問題について豊橋市長と3月議会予算委員会で議論しました。

市長は「上からでなく、住民発議による主体的な合併が生まれることが大事だ」として、「農業共済組合の統合や防災の広域連携などが進む中で、可能な分野から連携していく。それが住民発議の主体的な合併につながる」と答えました。

私は東三河市の合併問題には「合併はどこまでも住民主体の生活の都作りが最優先であり、拙速は避け、広域連携で合併への道を着実に開いていくべき」ことを市長に確認しました。

### 市会議員予定候補

## 伊藤ひであき

### 事務所 & 出陣式のご案内

この度、下記の通り伊藤ひであき選挙事務所を開設し、併せて出陣式を行いますので、ぜひご出席の上、伊藤ひであきを激励賜りますようお願い申し上げます。

事務長 松下 勇

日時 4月15日(日) 午前10時

場所 豊橋市東郷町118 電話(63)5573

